

# 霞

## — 2022年度 博物館だより —

土浦市立博物館  
令和4年7月21日発行(番外第1号)

土浦市立博物館は、大規模改修工事のため、令和4年7月5日(火)から令和6年1月上旬(予定)まで休館いたします。博物館だより「霞(かすみ) 番外」では、毎月、工事の進捗状況や館外で開催する展覧会や講座の情報をお伝えします。休館中の「おうちミュージアム」(解説動画)では、土浦市内の史跡や文化財などの見どころを紹介いたします。

### 博物館は休館中！(1)「受付引っ越し作業、1日目。」

いよいよ休館となった初日、受付の引っ越し準備をしました。休館中は、無料開館する土浦城東櫓に博物館の受付業務の一部を統合します。その準備として、頒布図書を片付けたり、受付用品を選び出しました。



コロナ第5波後の受付周辺(2021年11月撮影)



工事に備え片付け中(2022年7月5日撮影)

## 博物館からのお知らせ

※開催日時などの最新情報は、博物館ホームページを参照ください。

### 夏休みファミリーミュージアム【上高津貝塚ふるさと歴史の広場との共同企画】

博物館休館のため、下記の企画は土浦市民ギャラリー(アルカス土浦1階)で開催します。

開館時間：午前10時～午後6時

休館日：毎週月曜日

#### ○映像上映会「戦争の記憶」

市民の記憶をまとめた映像作品3本を初公開します。

会場：オープンギャラリー第2室

日時：8月11日(木・山の日) ※各回定員15名、上映開始30分前から整理券を配布します。

午前の部：10時30分～11時15分

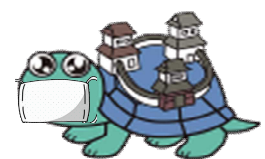
午後の部：1時30分～2時15分、2時30分～3時15分

#### ○写真展「戦争の記憶を語る～マップ編」+音声作品の公開

会場では、戦時中の体験談(音声作品)6本を常時公開します。

会場：オープンギャラリー第1室

期間：7月26日(火)～8月14日(日)



博物館マスコット  
亀城かめくん

2022年7月 おうちもミュージアム解説

けんぺいぶんたいあと きょうかいひょう

# 憲兵分隊跡の境界標

—博物館のあるところ—

土浦城二の丸跡に立地する博物館の敷地周辺を歩くと、境界標をいくつか見つけることができます。これらのうち3つは同型の石杭で、その1つが正面入口の掲示板の横にあります(写真1)。この石杭の側面をよく観察すると「陸軍」と刻まれています。かつてこの地には、陸軍憲兵分隊の官舎が建っていました。

「憲兵」は現代では聞きなれない言葉ですが、旧陸軍の兵種の1つで、軍事警察を主な任務としました。日本では明治14(1881)年にフランスの制度にならって創設され、1890年代には全国の市町村に配置されました。のちに一般警察の任務である公安維持まで担うようになり、思想取り締まりの任務にもあたりましたが、戦後は陸軍の解体とともに憲兵も解散となりました。

官舎は木造総二階建てで、戦後は市立幼稚園や図書館、さらに郷土資料館(昭和50(1975)年開館)として活用されました。写真2は郷土資料館時代のもので、門柱に資料館の看板が掲げられています。

資料館は木造であったことから、整備拡充が土浦市の総合計画の中で位置づけられ、建てかえられて昭和63年に同じ場所に土浦市立博物館が開館しました。

では、そもそも土浦に憲兵分隊はいつ頃おかれたのでしょうか。『官報』(No. 4106 大正15(1926)年5月4日)の記事に、「土浦憲兵分隊ハ去年一月茨城県新治郡土浦町ニ開設同日ヨリ事務ヲ開始セリ(陸軍省)」と登場します。また『土浦史』(昭和4年刊行)によると、大正14年5月、中城(現中央一丁目)に水戸憲兵分隊土浦憲兵分駐所として開設、10月に内西町(現大手町)の小学校の一角に移転、同15年4月に分隊に昇格し、昭和4年11月現在地に庁舎を新築して移転とあります。資料により開設時期に違いはあるものの、憲兵分隊は大正14年の1月から5月のあいだに設置され、博物館の場所には昭和4年に移転したことがわかります。また同書は設置理由を、「海軍航空隊設立以降、土浦警察署と航空隊の対立があり、憲兵隊の必要に迫られた(大意)」とも記しています。土浦の画期となった大正期の航空隊の設置は、憲兵分隊の開設にも影響していたことがうかがえます。(野田礼子)



写真1 掲示板の足元にある境界標



写真2 郷土資料館時代の官舎(昭和50年頃)



左のQRコードから解説動画のウェブページへアクセスできます。

霞(かすみ) 2022年度 博物館だより(番外第1号)

編集・発行 土浦市立博物館 茨城県土浦市中央1-15-18  
TEL 029-824-2928 FAX 029-824-9423  
<http://www.city.tsuchiura.lg.jp/page/dir000378.html>

博物館だより「霞」番外第2号の刊行は、8月2日(火)を予定しています。

※「霞」バックナンバーは、当館ホームページからもご覧になれます。(カラー版)